

シート

その他にて算定 小数点以下を含む数値は切上げて整数としています

H29.11.15現在
大阪府保健医療企画課 在宅医療推進G

在宅医療需要等の算定

		地域医療構想									備考	
保健医療計画		第6次計画	第7次計画				第8次計画					
介護保険事業(支援)計画		第6次計画	第7次計画			第8次計画		第9次計画				
		2013年 (平成25年)	2018年 (平成30年)	2019年 (平成31年)	2020年 (平成32年)	2021年 (平成33年)	2022年 (平成34年)	2023年 (平成35年)	2024年 (平成36年)	2025年 (平成37年)		
A	A 高齢化の動向に伴う需要増(人/日)		25,682	26,606	27,530	28,454	29,378	30,302	31,226	32,149		
	うち訪問診療の数(地域医療構想記載)	21,062	25,682	26,606	27,530	28,454	29,378	30,302	31,226	32,149	シート、-1へ	
	うち介護施設入所者数 (介護医療院への転換等以外老人保健施設)											
B	B 病床機能分化等による新たなサービス必要量(人/日) (療養病床医療区分Iの70%+地域差解消分)		586	1,171	1,756	2,341	2,926	3,511	4,096	4,681		
	訪問診療数	ア 在宅と施設の比率により算定	-	370	779	1,136	1,367	1,599	1,831	2,062	2,295	シート、-2へ
		イ 医療と介護の協議調整分	-									
	介護施設入所者数	ウ 介護医療院への転換等		57	57	133	387	641	895	1,149	1,402	
		エ 在宅と施設の比率により算定	-	159	335	487	587	686	785	885	984	
		オ 医療と介護の協議調整分										
C	C 外来患者数 (一般病床(C3未満))	-	239	477	715	953	1,192	1,430	1,668	1,906		
	訪問診療対象者総計(A+Bア+Bイ) (外来患者数以外)		26,052	27,385	28,666	29,821	30,977	32,133	33,288	34,444		

(参考)国提供データの集計

		2013年 (平成25年)	2018年 (平成30年)	2019年 (平成31年)	2020年 (平成32年)	2021年 (平成33年)	2022年 (平成34年)	2023年 (平成35年)	2024年 (平成36年)	2025年 (平成37年)
	療養病床	-	586	1,171	1,756	2,341	2,926	3,511	4,096	4,681
	医療区分Iの70%	-	140	279	418	557	697	836	975	1,114
	地域差解消分	-	446	892	1,338	1,784	2,230	2,676	3,122	3,567
	一般病床(C3未満) 全て外来扱い	-	239	477	715	953	1,192	1,430	1,668	1,906

需要・供給量試算シミュレーション

シート

【大阪市】
H29.11.15現在
大阪府保健医療企画課 在宅医療推進G

		2013年 (H25年)	2014年 (H26年)	2015年 (H27年)	2016年 (H28年)	2017年 (H29年)	2018年 (H30年)	2019年 (H31年)	2020年 (H32年)	2021年 (H33年)	2022年 (H34年)	2023年 (H35年)	2024年 (H36年)	2025年 (H37年)	備考	
需要	在宅医療の需要合計	21,062	21,986	22,910	23,834	24,758	26,052	27,385	28,666	29,821	30,977	32,133	33,288	34,444		
	-1高齢化の動向に伴う医療需要(在宅医療等) (人/日) 大阪府地域医療構想[うち訪問診療分]	12年間で按分 21,062	21,986	22,910	23,834	24,758	25,682	26,606	27,530	28,454	29,378	30,302	31,226	32,149	シート より 太枠はシートへ	
	-2病床機能分化等による新たなサービス必要量 (人/日)	8年間で按分					370	779	1,136	1,367	1,599	1,831	2,062	2,295	シート より 太枠はシートへ	
	訪問診療利用回数(× 1.78回) (回/月) (1)	12年間で按分	37,490	39,135	40,780	42,425	44,069	46,373	48,745	51,025	53,081	55,139	57,197	59,253	61,310	
	訪問医師数(÷ 49.96回) 【必要数】 (2)	12年間で按分	750	783	816	849	882	928	976	1,021	1,062	1,104	1,145	1,186	1,227	
供給	訪問医師数(人) (出典)	12年間で按分	-	3 841	876	911	946	981	1,017	1,052	1,087	1,122	1,157	1,192	1,227	太枠はシートへ
	訪問回数(/月) (× 49.96回) (府内訪問医師1人あたり49.96回訪問 /月)	12年間で按分		42,185	43,770	45,524	47,278	49,032	50,786	52,540	54,294	56,048	57,802	59,556	61,310	
供給 - 需要 (人) (-)		12年間で按分		58	60	63	65	54	41	31	25	19	13	7	0	

【算定方法】
 (1) 訪問診療を受けている利用者の実数を示す直接的なデータがないため平成27年社会医療診療行為別調査(6月審査分)から、患者1人の1月あたりの訪問診療回数を算定。(全国)
 在宅患者訪問診療料 同一建物居住者以外 : 実施回数(676,782) ÷ 請求件数(380,696) 1.78回
 (2) 平成26年度医療施設調査より算定
 訪問診療実施件数(107,714) ÷ 訪問診療機関(2,156) 49.96回/月
 (3) 平成26年度医療施設調査

2025年に向けた訪問診療必要量の試算シート

シート 大阪市

小数点以下を含む数値は切上げて整数としています

H29.11.15現在
大阪府保健医療企画課 在宅医療推進G

2013年 (平成25年)	需要 (利用者ニーズ)	【訪問診療対象者数】 - A		【訪問診療利用回数(1人あたり)] - B		【訪問診療の医療需要(1月あたり)]	
		介護施設・在宅医療等の追加的の需要の機械的試算 (厚労省提供データ) 各市町村切上げの数		下段試算方法にて算出(1)		A×Bにて算出	
		21,062	人/日	1.78	回/月	37,490	回/月
	供給 (提供体制)	【市内訪問医療機関]		【訪問医師の訪問件数(1月あたり)]		【訪問医師の訪問件数総数(1月あたり)]	
		平成26年度医療施設調査		平成26年度医療施設調査 訪問件数 ÷ 市内訪問医療機関 市町村独自		平成26年度医療施設調査	
		841	ヶ所	50.16	回/月	42,185	回/月

供給については医療施設調査が3年に1度であるため2014年の数字を使用

供給過不足	訪問医過不足数
供給 - 需要	供給過不足 /訪問医師の訪問件数
4,695 回/月	94 人

2025年 (平成37年)	需要 (利用者ニーズ)	【訪問診療対象者数】 - A		【訪問診療利用回数】 (1人あたり) - B		【訪問診療の医療需要(1月あたり)]		
		高齢化に伴う自然増	新たなサービス必要量	下段試算方法にて算出 1		A×Bにて算出		
		2025年の介護施設・在宅医療等の追加的の需要の機械的試算 (厚労省提供データ)	2025年(平成37年)新たなサービス必要量 (需要推計シミュレーションシート)	32,149	人/日	2,295	人/日	
	合計		34,444	人/日	1.78	回/月	61,310	回/月
	供給 (提供体制)	【市内訪問医療機関]		【訪問医師の訪問件数】 (訪問医師1月あたり)		【訪問医師の訪問件数総数(1月あたり)]		
		2025年(平成37年)訪問医師必要数 (需要推計シミュレーションシート)		2 府平均		2025年(平成37年)訪問回数(供給) (需要推計シミュレーションシート)		
1,227		ヶ所	49.96	回/月	61,310	回/月		

供給過不足	訪問医過不足数
供給 - 需要	供給過不足 /訪問医師の訪問件数
0 回/月	0 人

2025年(平成37年)目標に到達するとしてここでは0としています。

(1)
訪問診療を受けている利用者の実数を示す直接的なデータがないため、平成27年社会医療診療行為別調査(6月審査分)より、患者1人の1月あたりの訪問診療回数から算定。(全国)
在宅患者訪問診療料(同一建物居住者以外) : 実施回数(676,782) ÷ 請求件数(380,696) 1.78回

(2)
訪問診療実施件数(107,714件) ÷ 訪問医療機関(2,156人) = 49.96011... 49.96回/月

計画中間年(2020年)および計画最終年(2023年)の不足数(必要数)については、2025年の数値から比例案分にて算出

2020年 (平成32年)	需要	【訪問診療対象者数】 - A		【訪問診療利用回数】 (1人あたり) - B	【訪問診療の医療需要(1月あたり)】	
		高齢化に伴う自然増	新たなサービス必要量			
		27,530 人/日	1,136 人/日			
	合計	28,666 人/日		1.78 回/月	51,025 回/月	
	供給	【市内訪問医療機関】		【訪問医師の訪問件数】 (2府平均)	【訪問医師の訪問件数総数(1月あたり)】	
		1,052 ヶ所	49.96 回/月		52,540 回/月	

供給過不足	訪問医過不足数
1,515 回/月	31 人

2023年 (平成35年)	需要	【訪問診療対象者数】 - A		【訪問診療利用回数】 (1人あたり) - B	【訪問診療の医療需要(1月あたり)】	
		高齢化に伴う自然増	新たなサービス必要量			
		30,302 人/日	1,831 人/日			
	合計	32,133 人/日		1.78 回/月	57,197 回/月	
	供給	【市内訪問医療機関】		【訪問医師の訪問件数】 (2府平均)	【訪問医師の訪問件数総数(1月あたり)】	
		1,157 ヶ所	49.96 回/月		57,802 回/月	

供給過不足	訪問医過不足数
606 回/月	13 人